



## 地学と切手①

# 伊豆七島国定公園

堀内 恵彦

伊豆七島は 東京湾口の西南の大島から南へ延長 185 km におよぶ 雁行状の富士火山帯の火山島で 大島 利島 新島 神津島 三宅島 御蔵島 八丈島の七島を 称して 実際にはこれらに付属する小島があります。各島は孤島に近い環境ですので それぞれ風習が異なっております。これらの火山島は 玄武岩系の大島 利島 三宅島 御蔵島 八丈島と流紋岩系の新島 神津島があり 火山研究の貴重な資料といえます。七島はまた 南方系の縄文式土器や北方系の弥生式土器も発見されており 古くから住民の居住していたことがわかります。

**大 島:** 七島中最大の島で 本土に最も近く また船便等の便もあり 御神火で知られる三原山登山ということで 婦人の髪 服装あるいは頭にのせて荷物を運ぶ姿などの他と異なる風俗習慣を求めて この島を訪れる観光客も多数あります。三原山は島の大半を占めており 外輪山と中央火口丘の2つからなる複式火山で 中央火口丘はいまお煙をふいています。中央火口丘と外輪山の間は火山灰でうずめられ これを俗に砂漠といっています。三原山の中腹に湯場といわれる水蒸気の噴気孔があり リュウマチなどによいといわれています。南部の波浮港は 三原山火山群の爆裂火口跡で 元禄年間の大津波で一部がくずれ 外海とつながったので 人力で掘り広げて船の出入りが できるようにしたものです。島の北端に飛行場もあり 東京から40分で行くこともできます。

**利 島:** 七島中最も小さく 大島から西南へ約 17 km のところにあり 周囲約 8km 鐘状火山の宮塚山が島の中央部にそびえ その中腹には保護島のオオミズナギドリが住みつき 海岸は断崖で海に落ち込んでいます。

**新 島:** 南北に細長く 利島から南へ約8km 式根島・地内島・早島・鵜渡根の各島を属島としています。流紋岩系の岩石からなる火山島で トロイデ式火山の島です。島の中央部の平地は七島中で一番広く 真白い砂浜があります。島の南部は抗火石と呼ばれる軽石層からなり 島の建物はすべてこれで作られ 村営で採

掘されており 島外へも盛んに出荷され 島の重要な財源となっています。西南部の間々下には温泉もあります。式根島は新島の南西3.7kmのところであり もとは新島と続いていたものが 元禄年間の大津波できられたのだといわれています。海岸線は変化が多く 式根松島ともいわれます。島の南部には海岸に湧出する地奈多 足付の2温泉があります。

**神 津 島:** 七島中最初にできた島といわれ 中央には美しい姿の天上山がそびえ キャンプもできます。島民は漁業を主とし 純朴な島風です。

**三 宅 島:** 大島と八丈島のほぼ中間にあつて 中央部に雄山と呼ばれる成層火山があり 側火口の多いことではわが国第一です。水は天水に頼っており 乳牛飼育は有名です。江戸時代には八丈島と共に流罪人の島として有名で 画家英一蝶もこの島に流されました。

**御 蔵 島:** コニーデ式の火山島で 周囲は海食崖によってかこまれ 最高 480m もあり オオミズナギドリも生息しています。全島は つげ・つばき・桑などの原始林におおわれ 重要な島の産業源です。

**八 丈 島:** 七島の最南端で 第2の大きさを誇り 西北部の八丈富士は美しいコニーデ式火山で 南部の東山との間に平地を作っています。この島は温暖多雨で植物も亜熱帯性で ヘゴ フェニックス タコノキ ガジュマルなどが自生しています。昔は “鳥も通わぬ八丈が島”といわれたこの島も 現在では飛行機で1時間20分でゆけます。この西7kmのところに八丈小島があり また南の鳥島 青ガ島は八丈の属島となっています。

12月10日発行の国定公園シリーズ第17集の切手は 海上からながめた八丈富士にヤシの木を配した グラビア4色刷りです。国定公園指定は 昭和30年4月1日 陸地面積 278.18km<sup>2</sup>で 全域東京都です。

(筆者は元所員 現科学技術情報センター)